

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告...この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意...この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⊘の中に具体的な禁止内容が描かれています。

(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⊕の中に具体的な指示内容が描かれています。

(左図の場合は、“アースを接続してください”を表します)

⚠ 警告



・アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。



・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

・延長コードの使用は避けてください。

・電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。



- ・機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。



- ・本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザーを使用している機器の場合はレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- ・この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザーを使用している機器の場合はレーザー光線による被爆の恐れやレーザー光洩れにより失明の恐れがあります。



- ・万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐにメインスイッチ(機種によってはバックアップスイッチを含みます)を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けしないでください。
- ・万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まずメインスイッチ(機種によってはバックアップスイッチを含みます)を切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- ・この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。機械の上に置いたものがこぼれたり、機械の中に入った場合、火災や感電の原因になります。

注意



- ・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。



- ・機械を移動するとき、必ず左右2箇所の移動用取っ手を持ち、キャスターロックを外してから移動してください。取っ手以外の部分に手をかけると指をはさむなど、けがの原因になります。

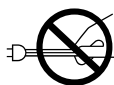


- ・機械を移動したらキャスター留めをするなど固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。



- ・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- ・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- ・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- ・狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。



- ・この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

お願い

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・テレビやラジオからできるだけ離す
- ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・コンセントを別にする

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置など電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置は、商工業地域で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

安全上のご注意	1
目次	4
1 各部の名称とはたらき	6
本体正面	6
本体背面	7
フロント端子とリア端子	7
インジケータ	8
ワイヤレスリモコン	9
2 使用前の準備	11
据付方法	11
ワイヤレスリモコンの準備	12
接続方法	13
その他デバイスの接続方法	15
3 使用方法	17
電源の入れ方	17
電源の切り方	17
タッチパネルの使用方法	17
4 使用上の注意	18
5 異常時の処置	19
6 修理を依頼する前に	20
現象による状態チェックと処置	20
インジケータによる状態チェックと処置	22
7 お手入れ	23
外装のお手入れ	23
タッチパネルのお手入れ	23
内部の掃除	23
光源ランプの交換	24
8 アフターサービスについて	25
9 仕様	26
製品仕様	26
設置スペース	27
外形寸法図	27
10 メニューの使い方	28
メニュー階層図	28
メニューの基本操作	29
メニューの設定のしかた	29
信号設定メニュー	31

	信号設定メニューの詳細設定	33
	画質メニュー	34
	音声メニュー	35
	設置メニュー	35
	オプションメニュー	36
	映像の調整のしかた	38
11	技術情報	39
	ガンマ補正のしかた	40
	パソコン映像の調整のしかた	42
	パソコンから本機の表示機能を制御する	46
	タッチパネルコントローラのRS-232C インターフェース部の内容	53
	ご利用になるマイク関連の仕様	53
索 引	54

1 各部の名称とはたらき

本体正面

タッチパネル付き 52インチスクリーン

指または付属のペンでタッチして、入力できます。また、このスクリーンにワイヤレスリモコンを向けて、操作できます。

主電源スイッチ

本機の主電源スイッチを入/切にします。また、本機に接続された他の機器の電源も運動します。

インジケータ部

本機の状態を知らせるインジケータで、電源インジケータ、ランプインジケータ、温度インジケータがあります。

ビデオ・DVD等収納部

前面のドアを開けて、ビデオ・DVDプレーヤー等の機器を収納できます。

パソコン収納部

前面のドアを開けて、パソコン本体を収納できます。

ロック付きキャスター

移動時以外は、必ずキャスターをロックしておきます。

スキャナ等収納部

カバーを開けると、小型のスキャナ等を収納できます。

フロント端子部

カバーを開けると、入力端子があります。ビデオやパソコンのモニタ等を接続できます。

スピーカー

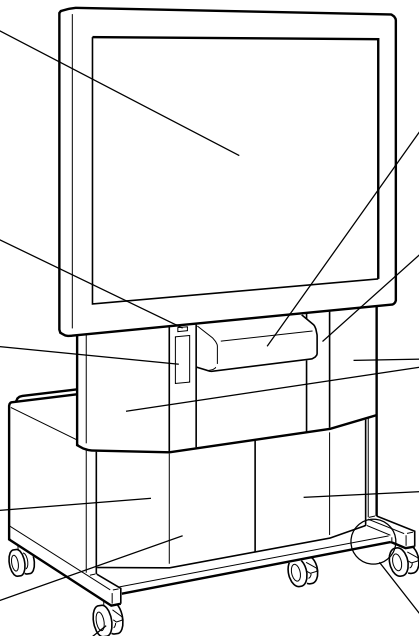
本機の音声入力端子より入力された音声を出力します。

プリンタ収納部

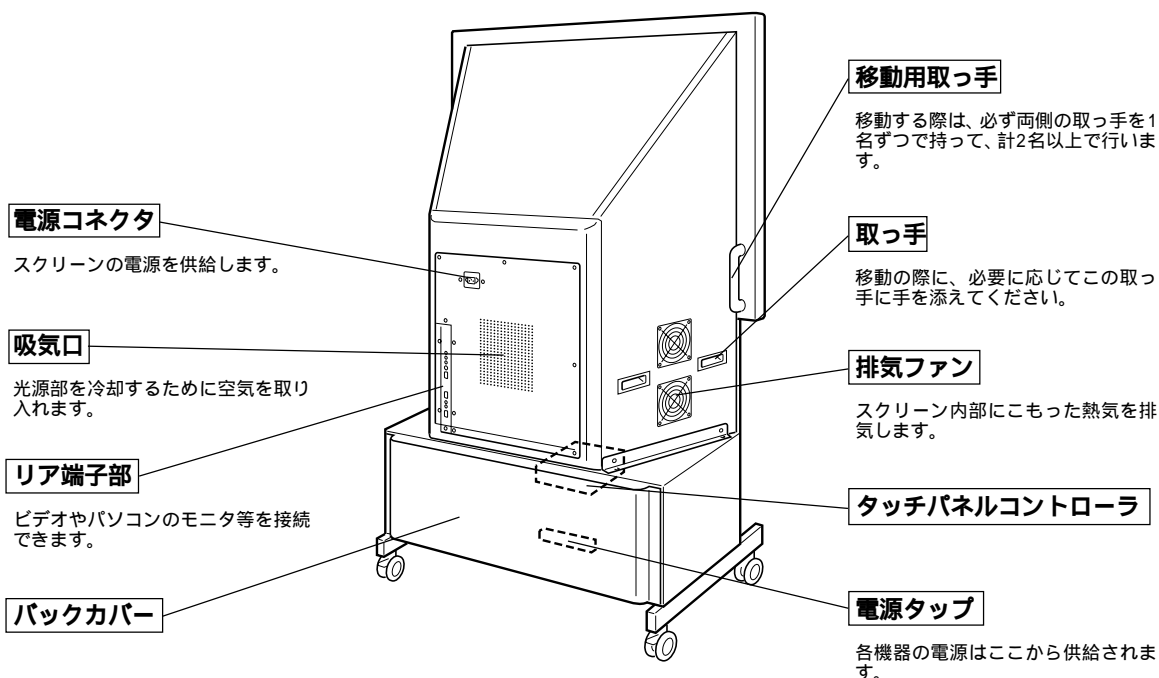
前面のドアを開けて、インクジェット、レーザー等のプリンタを収納できます。ロックスライダのロックを外すと、右側の底板を手前に引き出すことができます。

ロックスライダ

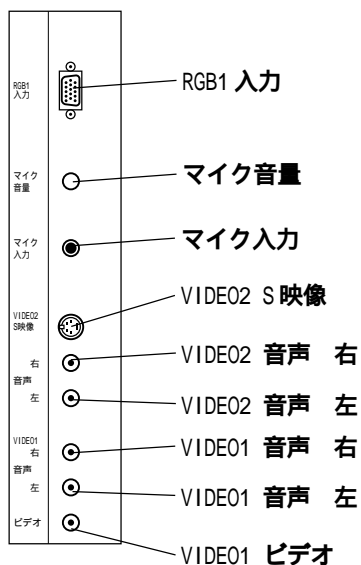
プリンタ収納部の底板のロックです。右にスライドさせるとロックします。本機の移動の際は、必ずロックしてください。



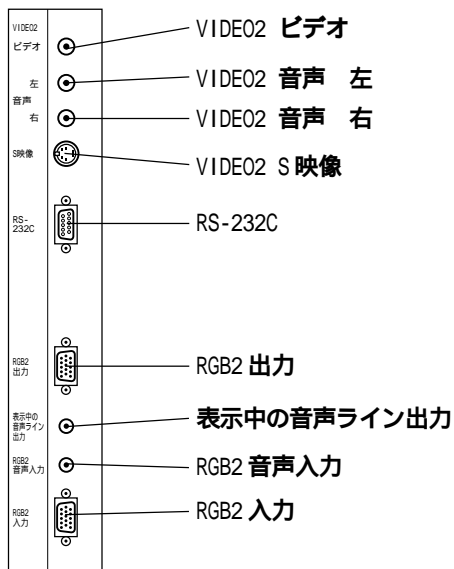
本体背面



フロント端子とリア端子



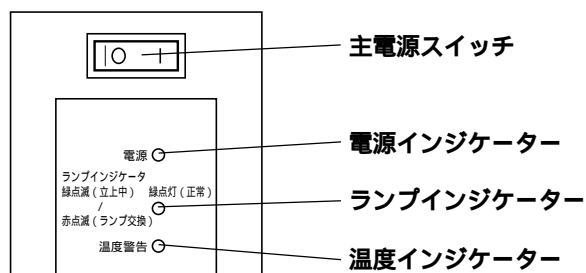
フロント端子部



リア端子部

インジケータ

本機には、内部の状態を知らせるインジケータが3つあります。インジケータの光り方によって、本機の状態や異常を知ることができます。インジケータによって異常が認めれたら、サービス実施店にご相談ください。



電源インジケータ

主電源の入 / 切を知らせます。

本機の主電源スイッチを入れると、2~3秒後に赤で点灯し、その数秒後緑に点灯します。

電源インジケータが緑色に点灯すると同時に、ランプインジケータが緑で点滅し始めます。約1分間点滅した後、緑に点灯します。

ランプインジケータ

光源ランプの点灯と寿命を知らせます。

本機の主電源スイッチを入れると光源ランプが点灯し、数秒後にランプインジケータが緑で点滅し始めます。約1分間点滅した後、緑で点灯します。

光源ランプの点灯時間が、通算約1000時間を超えるとランプインジケータが赤く点滅します。そして、約1250時間を超えると、主電源スイッチを押したときにスクリーン上部に1分間「LAMP!!」のメッセージが表示されます。

さらに、約1300時間に達すると光源ランプの電源が切れ、ランプインジケータが赤く点灯します。

⚠注意

光源ランプの使用時間が約1300時間を超えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換するまで使用できなくなります。

温度インジケータ

内部温度の異常を知らせます。内部温度が高くなると電源が切れ、このインジケータが赤く点灯します。

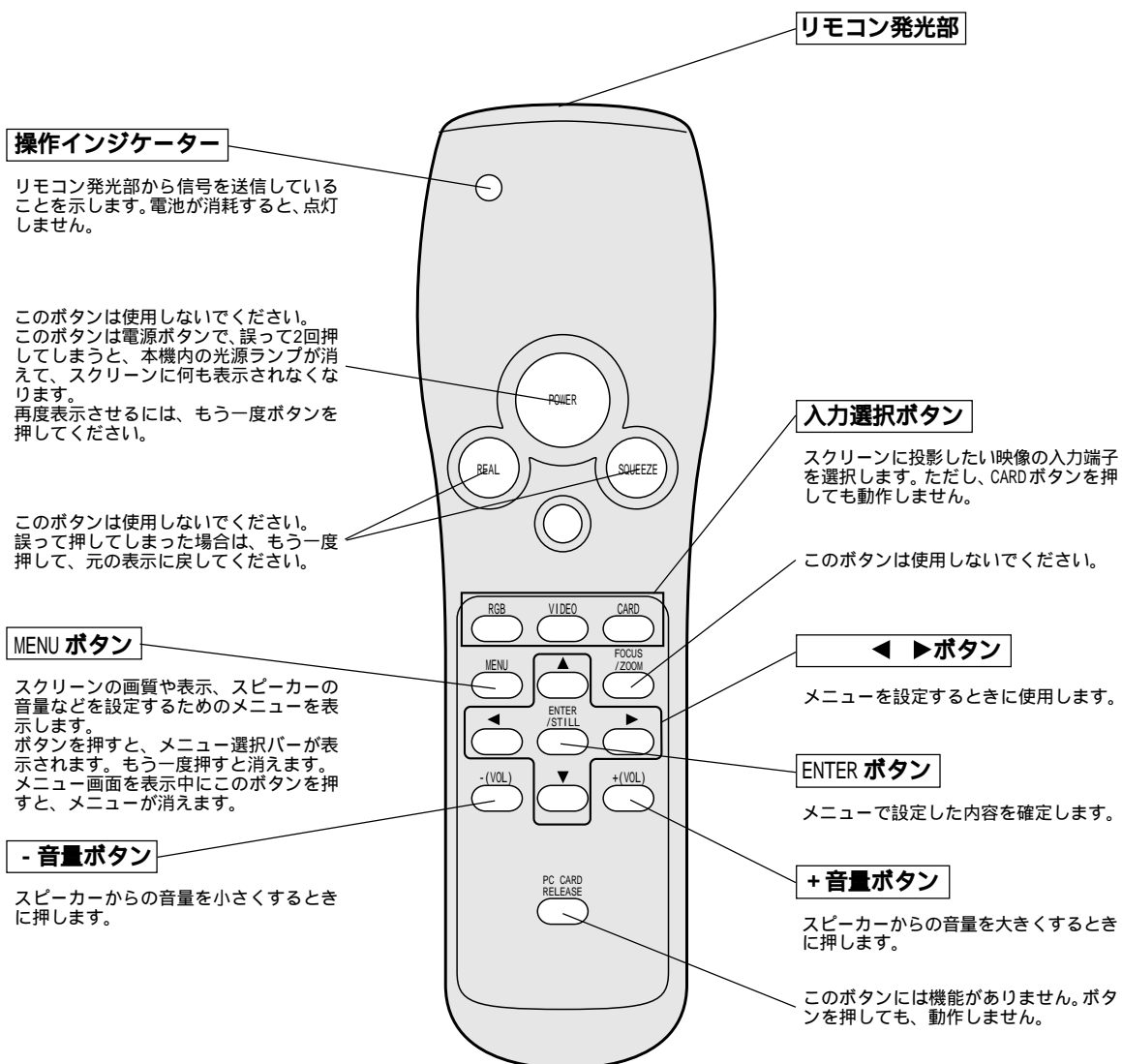
ワイヤレスリモコン

ワイヤレスリモコンは2種類あり、どちらかのタイプが同梱されています。ボタンの数や表記などに違いがありますが、2つのタイプともまったく同じ機能を持っています。どちらをお使いになっても正常に操作することができます。

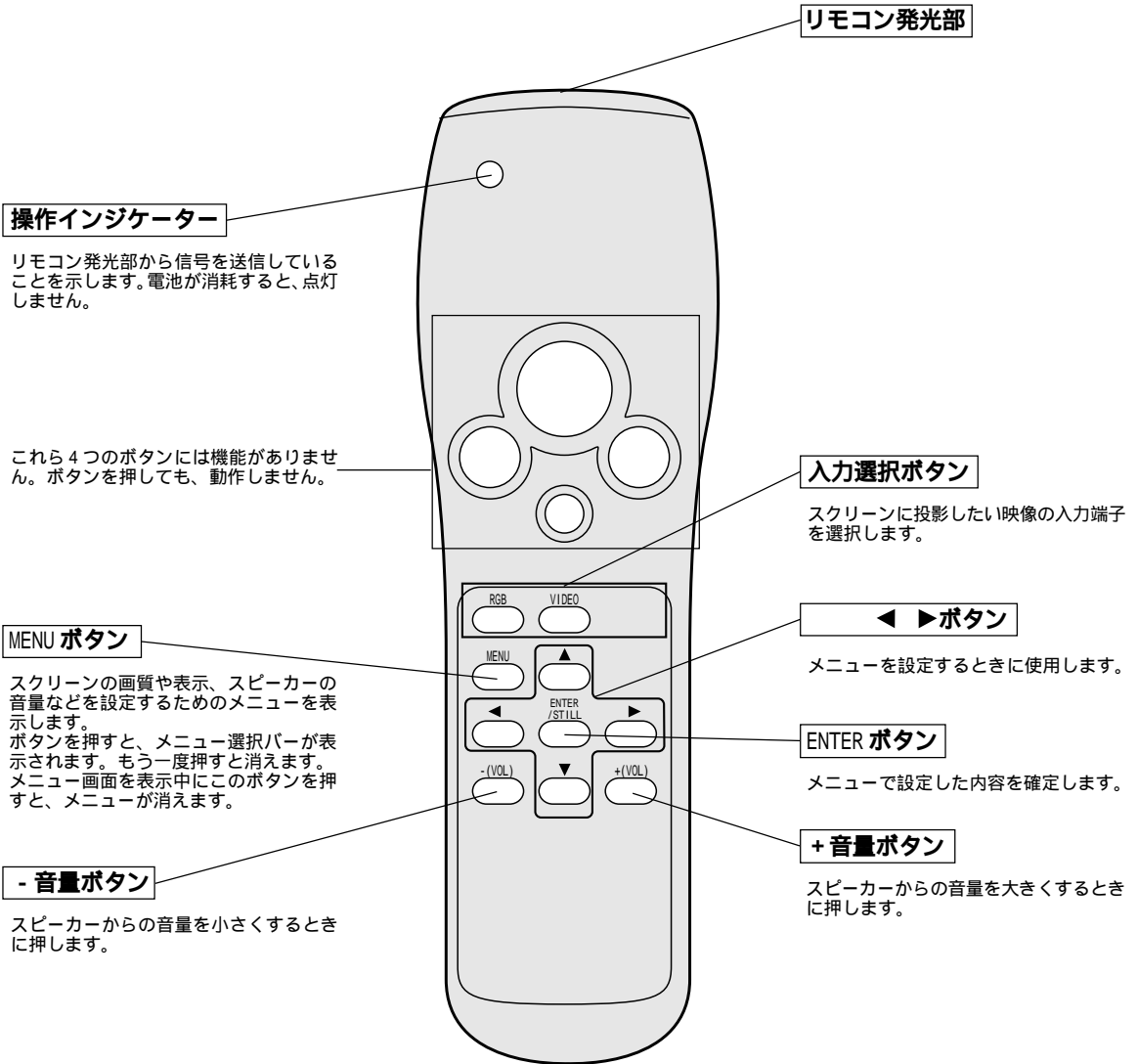
重要

ワイヤレスリモコンは、スクリーンに向けて操作してください。

リモコン1



リモコン 2



2 使用前の準備

据付方法

開梱・設置・組み立て

本機の質量（重量）は、約170kg（パソコンを除く）あります。お客様が開梱・設置・組み立てを行うと落としたり倒れたりしてけがの原因となりますので、開梱・設置・組み立ては最寄りの販売店へご依頼ください。

据付場所・運搬

本機の質量は約170kgあります。落としたり、倒れたりしてけがの原因とならないよう、次の警告と注意をよくお読みになり据付・運搬してください。

⚠警告

傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。

⚠注意

- ・運搬は2人以上で、必ず移動用取っ手を持ち、キャスターのロックを外してから運搬してください。
- ・運搬するときは、必ずプリンタ収納部の底板ロックをかけてから運搬してください。
- ・据付時、キャスターは必ずロックしてください。

スクリーンの内部に水分やほこりなどが入ったり、内部の温度が上昇して火災・感電の原因とならないよう、次の警告と注意をよくお読みになり据付けてください。

⚠警告

- ・本機の背面右側に排気ファンがあります。通風孔をふさがないように据付けてください。
- ・風通しの悪い狭い場所に置かないでください。

⚠注意

- ・湿気やほこりの多い所に置かないでください。
- ・油煙や湯気が当たるようなところに置かないでください。
- ・直射日光が当たる所や熱器具の近くに置かないでください。

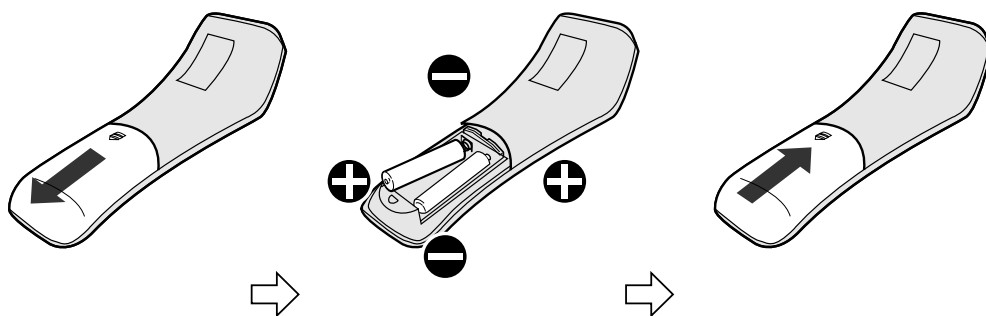
ワイヤレスリモコンの準備

ワイヤレスリモコンに単3形乾電池R6P (SUM-3) を2個入れます。

補 足

- ・乾電池の寿命は約1年です（ご使用の状態によって電池の寿命は変わります）。
- ・ワイヤレスリモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、2個とも新しい乾電池に交換してください。

電池の入れ方



1. 裏ふたを押しながら、矢印の方向にスライドさせます。

2. 電池のプラス⊕、マイナス⊖の向きを、表示通りに正しく入れます。

3. ふたを閉めます。

△注意

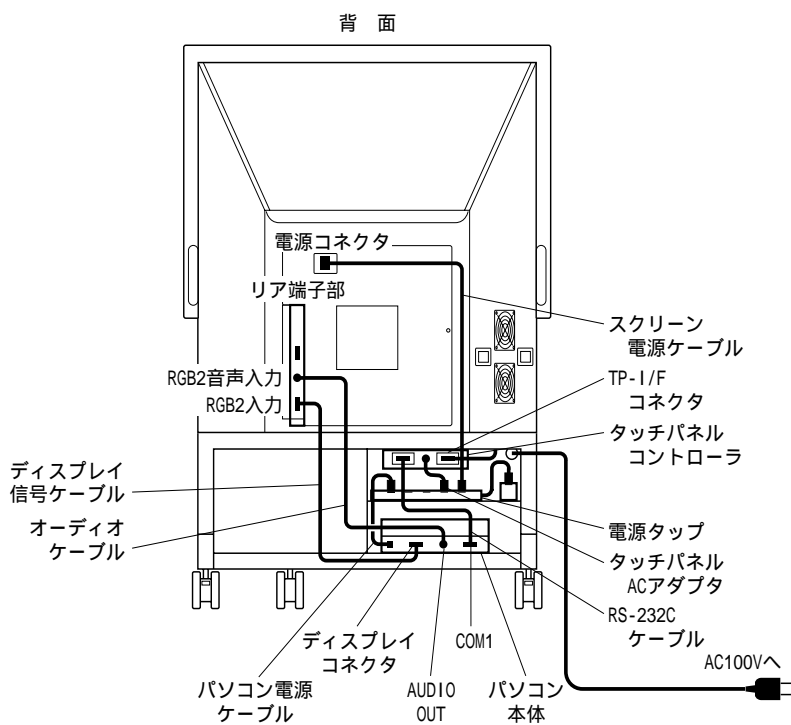
- ・指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ・電池をワイヤレスリモコン内に挿入する場合は、プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、ワイヤレスリモコンの表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

接続方法

本機の電源やパソコンを接続する場合は、本体背面のバックカバーを外してから、作業を行ってください。

重要

入力および出力機器を接続する前に、本機そして接続する入力および出力機器の電源を切ってください。



接続図 1

本機の接続方法（接続図1参照）

1. スクリーンの電源ケーブルを本機の電源タップと電源コネクタに接続します。
2. 付属のタッチパネルACアダプタを、本機の電源タップとタッチパネルコントローラに接続します。
タッチパネルコントローラは、本体背面から見て右下の「ビデオ・DVD機器等の収納部」の上部に取り付けられています。
3. タッチパネルケーブルをタッチパネルコントローラのTP-I/Fコネクタ（右側）に接続します。

パソコンの接続方法（接続図1参照）

1. 本機のパソコン収納部にパソコンを設置します。
2. 付属のディスプレイ信号ケーブルの片側を、パソコンのディスプレイコネクタ（ミニD-SUBメス 15ピン）に接続し、もう片側をリア端子部のRGB2入力に接続します。
3. 付属のRS-232CケーブルをパソコンのCOM1に接続し、もう片側をタッチパネルコントローラの左側コネクタ（D-SUBオス 9ピン）に接続します。
4. 付属のオーディオケーブルを、パソコンの“AUDIO OUT”と、本機のリア端子部のRGB2音声入力に接続します。
5. キーボードは、パソコンの上に置いておきます。
6. パソコンの電源ケーブルを本機の電源タップに接続します（これにより本機の主電源に連動します）。

本機主電源の接続方法（接続図1参照）

1. 本機電源タップの電源ケーブルを、バックカバーの下から引き出せるようにして、バックカバーを本機に取り付けます。
2. 電源タップの電源プラグをAC100V電源コンセントに差し込みます。

⚠警告

表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

重要

電波障害防止のために電源コードは、接地極付コンセントに接続してください。

その他デバイスの接続方法

重要

- ・他のデバイスを接続する前に、本機そして接続する入力および出力機器の電源を切ってください。
- ・電源タップに接続する機器は、総容量1500W以下でお使いください。

フロント端子部への接続方法

フロント端子部の入力端子を使用して、ビデオやパソコンのモニタ等が接続できます。各入力端子の様子は以下のとおりです。

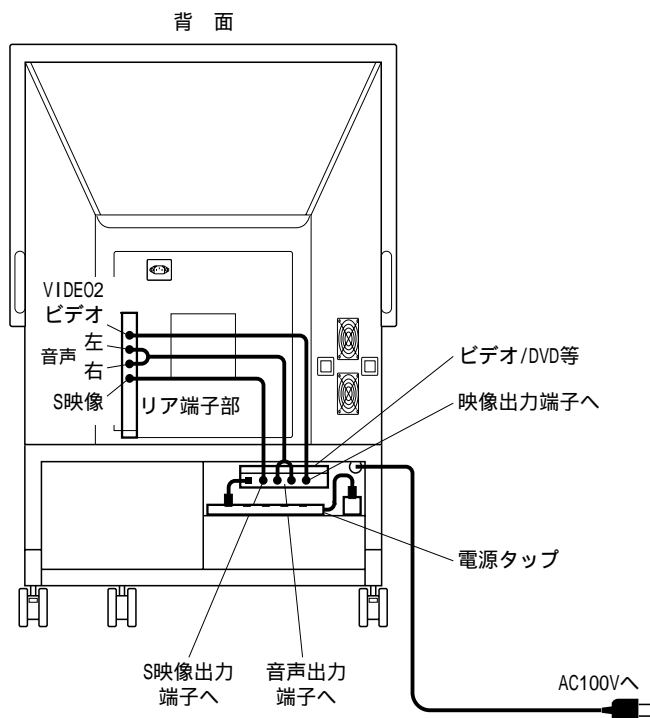
- | | |
|-----------------|---|
| ・RGB1 入力 | パソコンの映像信号（アナログRGB/YCbCr、YCbCr、YPbPr）を入力します。 |
| ・マイク音量 | マイクから入力音量を大きくしたり、小さくしたり調整します。 |
| ・マイク入力 | マイク端子を差し込みます。 |
| ・VIDEO2 S映像 | S映像入力端子です。 |
| ・VIDEO2 音声（右、左） | 音声入力端子です。 |
| ・VIDEO1 音声（右、左） | 音声入力端子です。 |
| ・VIDEO1 ビデオ | 映像入力端子です。 |

補足

- ・「VIDEO2」系統のビデオ端子とS映像端子は、自動的に信号の有無を判別します。ただし、両方の端子に接続した場合は、S映像端子の信号が優先されます。また、S映像端子はフロント端子部とリア端子部にありますが、両方の端子に接続した場合は、フロント端子部の信号が優先されます。
- ・ビデオ機器をVIDEO端子でご利用になる場合、映像が乱れることがあります。ビデオ機器はS映像端子でご利用になることをお勧めします。

リア端子部への接続方法

リア端子部に他のデバイスを接続する場合は、本体背面のバックカバーを外してから、作業を行ってください。以下の接続図2を参照して、ビデオやDVD等の機器を接続します。合わせて接続する機器の取扱説明書もご覧ください。



接続図 2

3 使用方法

電源の入れ方

主電源スイッチで連動させる各機器のスイッチをONにしてください。主電源スイッチを入れると、各機器が連動してONになります。

主電源スイッチを入れた直後は、スクリーンが暗く見えます。これは、光源ランプのウォームアップのためで故障ではありません。

⚠注意

- ・電源を切ってから約1分間は再び主電源スイッチを入れても、光源ランプは点灯しません。これは、光源ランプの保護のためで故障ではありません。

電源の切り方

接続された各機器の電源がONの状態のまま、本機の主電源スイッチで電源を切ると、各機器の電源が連動し、OFFになります。

⚠注意

- ・Windowsパソコンが接続されている場合、必ずWindowsの終了を行い、「コンピュータの電源を切る準備ができました」が表示されていること、またはパソコンのパワーランプなどで電源が切られていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。

⚠注意

主電源スイッチの入/切について

主電源スイッチを切ってから、再び主電源スイッチを入れるには約2分間待ってください。主電源スイッチを切った後すぐに電源を入れると、スクリーンに投影する光源ランプの輝度が短期間で低下する恐れがあります。

また、電源を切ってから約1分間は再び主電源スイッチを入れても、光源ランプは点灯しません。これは、光源ランプの保護のためで故障ではありません。

タッチパネルの使用方法

タッチパネルを指で操作する場合は、指の腹をスクリーンに押し当てるようにします。指の側面は使用しないでください。押ししても認識されないことがあります。

また、指を当てる強弱によっては機能を実行できないこともあります。その場合は、もう少し指を強く押してみてください。

4 使用上の注意

タッチパネルのガラスについて

ガラスは、強くたたくと割れたりしてけがの原因となることがあります。

ガラスの表面にキズがつくと、タッチパネル故障の原因となることがあります。

ガラス表面に汚れ、異物が付着すると、タッチパネル誤動作の原因となることがあります。汚れ、異物が付着した場合は、付属の布または柔らかい布で拭き取ってご使用ください。

パソコンの電源について

Windowsパソコンが接続されている場合、必ずWindowsの終了を行い、「コンピュータの電源を切る準備ができました」が表示されていること、またはパソコンのパワーランプなどで電源が切られていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。

電源タップの電源容量について

電源タップに接続する機器は、総容量1500W以下でお使いください。

レーザープリンタ等大型の周辺機器を接続する場合は、機器の消費電力を確認してください。

5 異常時の処置

警告

煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするなど異常状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。このようなときはすぐに機器本体の主電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、サービス実施店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

6 修理を依頼する前に

修理を依頼される前に、お客様に調べていただきたい内容を以下にまとめています。以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止してください。

故障状態のままご使用になると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、サービス実施店にご連絡ください。

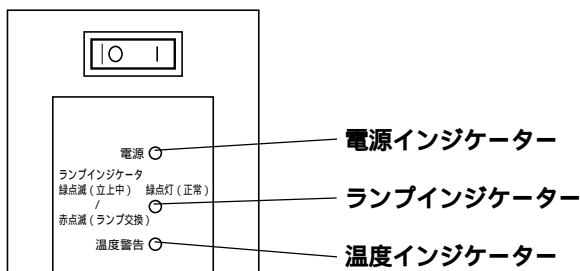
現象による状態チェックと処置

このようなときは	ここをお調べください	処置
画面に何も映らない！	<ul style="list-style-type: none"> a. 主電源スイッチは入っていますか？ b. 電源インジケータが消えていますか？ c. 電源タップに、正常に電気が供給されていますか？ d. 電源タップの電源コードが正しく接続されていますか？ e. 電源ランプが消灯していませんか？ f. スクリーン電源ケーブルが正しく接続されていますか？ g. RGB入力コネクタおよびビデオ信号入力コネクタに信号ケーブルが正しく接続されていますか？ h. 接続されている機器が正しく動作していますか？ i. 適正な信号ケーブルが接続されていますか？ j. 接続されている入力信号を正しく選択していますか？ k. 周囲の温度が高すぎませんか？（温度インジケータが赤く点灯していませんか？） l. 光源ランプが切れていませんか？（ランプインジケータが赤く点灯していませんか？） m. 電源を切ってからすぐに電源を入れましたか？（電源インジケータが赤く点灯していませんか？） 	<ul style="list-style-type: none"> a. 主電源スイッチを入れてください。 b. 主電源スイッチを入れてください。 c. 別の機器で確認してください。 d. 電源コードを正しく接続してください。 e. 電源コードを正しく接続してください。主電源スイッチを入れてください。 f. スクリーンの電源コネクタに、スクリーン電源ケーブルを正しく接続してください。 g. RGB入力コネクタおよびビデオ信号入力コネクタに信号ケーブルを正しく接続してください。 h. 接続されている機器を正しく動作させてください。 i. 適正な信号ケーブルを接続してください。 j. 接続されている入力信号を選択してください。 k. 周囲温度を動作温度範囲内に設定し、30分以上セットを放置冷却した後、電源を入れなおしてください。 l. サービス実施店に依頼して、光源ランプを交換してください。 m. 電源を切ってから約1分間は光源ランプの保護のため電源が入りません。これは、故障ではありません。いったん主電源スイッチをオフにして、2分間待ってからもう一度主電源スイッチを入れてください。
ワイヤレスリモコンが操作できない！	<ul style="list-style-type: none"> a. 電池が正しくセットされていますか？ b. 電池が消耗していませんか？ c. 本機のスクリーン部にリモコン発光部を正しく向けていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> a. 電池を正しくセットしてください。 b. 新しい電池と交換してください。 c. 本機のスクリーン部にリモコン発光部を正しく向けて操作してください。
映像が暗い！	<ul style="list-style-type: none"> 明るさの調整が不足していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 画質メニューのブライト調整を行ってください。

このようなときは	ここをお調べください	処 置
映像がぼやける！	明るさ、コントラストの調整が不足していませんか？	画質メニューのブライト、コントラスト調整を行ってください。
映像に赤、青、黄などの光る点が見える！	本機の方式特有のものです。故障ではありません。	
映像が乱れ、音声に雑音が入る！	a. 外部機器との接続ケーブルを端子に正しく接続されていますか？ b. 他の機器の近くに設置しているために他の機器からの妨害電波を受けていませんか？	a. 接続プラグを端子の奥までしっかりと接続してください。 b. 本機を他の機器から離してください。
音が出ない！	a. 音量の調整がされていますか？ b. 音声メニューのミュートの設定を「オン」にしていませんか？	a. 音量の調整を行ってください。 b. 音声メニューのミュートの設定を「オフ」にしてください。
排気口から温風がでる！	本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じるがありますが故障ではありません	
メニューで設定できない！	前ページの「ワイヤレスリモコンで操作できない！」を参照してください。	
映像がぼやけて残る！	同一の静止画像を長時間ご覧になられた場合、画面を切り換えてもまれに静止画像がぼやけて残ることがありますがこれは故障ではありません。画像残りは、数日間放置しておくでなくなります。	
タッチパネルで操作できない！	a. タッチパネルコントローラのACアダプタが電源タップに正しく接続されていますか？ b. タッチパネルケーブルがタッチパネルコントローラのTP-I/Fコネクタに正しく接続されていますか？ c. クリーナーなどでタッチパネルを手入れしたときに、その液体がたれてタッチパネルの下部に液が溜まっていますか？	a. ACアダプタを正しく接続してください。 b. タッチパネルケーブルをTP-I/Fコネクタに正しく接続してください。 c. タッチパネルの下部に溜まっている液体をきれいに拭き取ってください。

インジケーターによる状態チェックと処置

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが3つあります。インジケーターの光り方によって、本機の異常を知ることができます。以下の表に、インジケーターの表示に対する、本機の状態と対処方法を説明します。



	表示	状態	処置
温度 インジケーター	赤点滅	<p>内部の温度が高くなっています。高温になると電源が切れ、電源インジケーターも赤く点灯します。次の原因が考えられます。</p> <p>a. 吸気口または排気口をふさいでいる。</p> <p>b. 排気ファンに異物がはさまってファンが止まっている。</p> <p>c. 暖房の吹出し口などの高温な場所で使用している。</p> <p>d. フィルターが汚れている。</p>	<p>a. ふさいでいる物を取り除きます。</p> <p>b. 電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。</p> <p>c. 設置場所を変更します。</p> <p>d. 電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。</p>
	緑点滅	正常です(光源ランプのウォームアップ状態です)。	
ランプ インジケーター	緑点灯	正常です。	
	赤 / 緑に交互に点滅	光源ランプの寿命が近づいています。	光源ランプを交換してください。光源ランプの交換については、サービス実施店にご依頼ください。
赤点灯	光源ランプの寿命です。スクリーンには何も表示されません。電源インジケーターも赤く点灯します。		
電源 インジケーター	赤点灯	スタンバイ状態です(電源が入っていますが、光源ランプは光っていない状態です)。	温度インジケーター、ランプインジケーターの表示を確認して処置してください。両インジケーターが共に消灯している場合は、いったん主電源スイッチを切り、約2分後に再度主電源スイッチを入れてください。
	緑点灯	電源が入っています。	
	赤 / 緑に交互に点滅	光源ランプに関する保護スイッチが働いています。	サービス実施店にご相談ください。

7 お手入れ

⚠注意

お手入れをする前に、必ず主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

外装のお手入れ

- ・柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・汚れがひどいときには、水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってから、汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

タッチパネルのお手入れ

ガラス表面に汚れ、異物が付着すると、タッチパネル誤動作の原因となることがあります。汚れ、異物が付着した場合は、付属の布または柔らかい布で拭き取ってご使用ください。汚れがひどい場合には、クレポリメイト クリアNo.1249（呉工業株式会社製）の使用をお勧めします（クレポリメイト クリアは、全国の日用品・家庭用品店で入手できます）。塗布する際は、付属の布に液体を少量吹き付けて、清掃してください。液体を直接ガラスに吹き付けると、たれた液でタッチパネルの故障の原因になります。

⚠注意

- ・タッチパネルはガラス製で、合わせガラスを採用しており割れにくく破片が飛び散りにくい構造ですが、ガラスが割れると、場合によってはけがの原因となることがあります。
- ・ガラスの表面にキズがつくと、タッチパネル故障の原因となることがあります。

内部の掃除

- ・タッチパネル付スクリーン内部の掃除は、サービス実施店にご依頼ください。
- ・掃除を行うと、機器本体の火災・故障を防ぎます。特に梅雨期の前に行うのが効果的です。
- ・内部掃除の費用については、サービス実施店におたずねください。

光源ランプの交換

本機には、スクリーンに映像を投影するために光源ランプが内蔵されています。通常のランプ同様に光源ランプにも寿命があります。光源ランプの寿命は、平均で約1300時間です。ただし、使用環境によって寿命は異なることがあります。輝度が低下したり、色あいが悪くなった場合は光源ランプが消耗しています。

また、光源ランプの使用時間が約1000時間を超えると、本機前面のインジケータ部のランプインジケータの赤 / 緑が交互に点滅します。

以上のような場合は、新しい光源ランプと交換してください。光源ランプの交換については、サービス実施店にご依頼ください。

⚠注意

- ・光源ランプの使用時間が約1250時間を超えると、主電源スイッチを押したときにスクリーン上部に1分間「LAMP!!」のメッセージが表示されます。また、光源ランプの使用時間が約1300時間を超えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換するまで使用することができなくなります。

8 アフターサービスについて

保証書は、必ず『販売店・サービス実施店』など所定事項の記入をお確かめになり、保証書記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。無償保証期間は、納入日から1年間です。

操作方法や機械のトラブルのお問い合わせ、または、消耗品などのご注文や、機械の移転などのご用命は、サービス実施店または、販売店にご連絡ください。

日本国外へ移動したときは、保守サービスは負いかねますので、ご了承ください。

保証期間終了後の修理については、サービス実施店または、販売店にご連絡ください。

9 仕様

製品仕様

商品名		MB2-50XF (パソコン付き)	MB2-50XS (パソコンなし)
表示装置	スクリーンサイズ	対角:131cm(52インチ)	
	アスペクト比	4:3	
	表示画素数	1024 × 768 ドット (XGA)	
	輝度	MAX580カンデラ(平均500カンデラ)	
映像	入力	RGB信号	2系統 前部:ミニD-SUB 15P 後部:ミニD-SUB 15P
		VIDEO信号	2系統 前部:RCAピンジャック、Sビデオ(後部Sビデオと同一系統) 後部:RCAピンジャック + Sビデオ(RCAとSビデオ自動切換)
	出力	RGB信号	1系統 後部:ミニD-SUB 15P
音声	入力	3系統 後部 RGB(パソコン音声):ステレオミニプラグ 前部ビデオ音声:RCAピンジャック(L,R) 後部ビデオ音声:RCAピンジャック(L,R)	
	出力	1系統:映像に連動した系統を出力(パソコンまたはビデオ映像等) ラインアウト:ステレオミニプラグ 内部スピーカー5W+5W	
タッチ入力装置	方式	超音波表面弾性波タッチパネル方式	
	Touch resolution	1.72mm/ポイント(5.8ポイント/cm)	
	入力方法	指 または 付属ペン	
パソコン		DOS/V仕様機	なし
同梱ソフトウェア		リコーMBソフトウェア(プリインストール) タッチパネルドライバ for Win95 (プリインストール) Microsoft Windows9x(プリインストール) Microsoft Office97(プリインストール)	リコーMBソフトウェア タッチパネルドライバ for Win95
全般	外形寸法	W:121cm D:76cm H:193cm(キャスト付)	
	収納部寸法 (スタンド部)	右段 プリンタ収納部 可動式 W:50cm D:49cm H:39.5cm	
		左上段 ビデオ・DVD等収納部 W:47cm D:37cm H:16.5cm(注1)	
		左下段 PC収納部 W:46cm D:53cm H:20.5cm	
	温湿度条件	温度5 ~ 35 湿度20 ~ 80%(但し結露しないこと)	
	電源電圧	100V(50/60Hz)	
	消費電力	約635W	約435W
質量	約180kg	約170kg	
<主な添付品> (ソフトウェア除く)		タッチパネル用ペン(1本)、ワイヤレスリモコン、保証書、 使用説明書(ハードウェア編/ソフトウェア編)、 ACアダプタ(タッチパネルコントローラ用)、 各種ケーブル(ディスプレイ信号ケーブル、RS-232Cケーブル、 パソコン用オーディオケーブル、ディスプレイ用電源ケーブル:各1)、清掃用布	

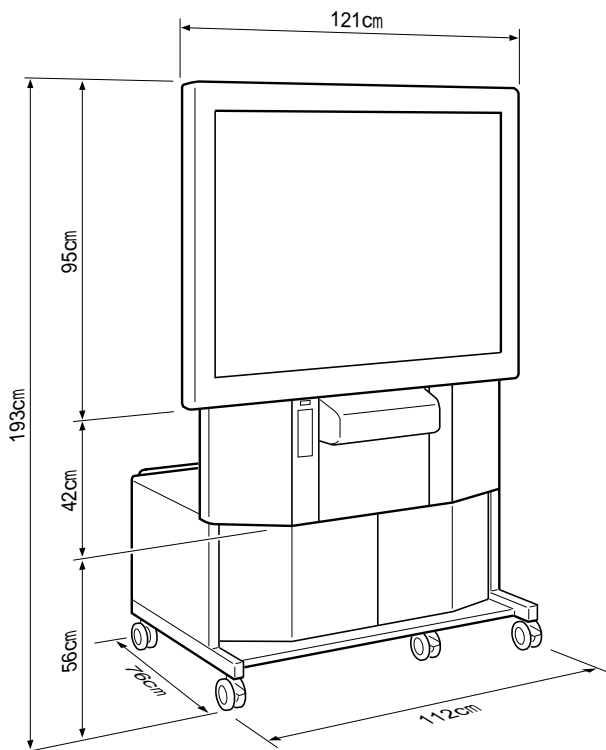
注1)ビデオ・DVD等収納部の棚板(底板)は、取り外しできます。

注2)映像入力のVIDEO信号で、前部と後部にあるSビデオは同一系統です。

上記の仕様は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

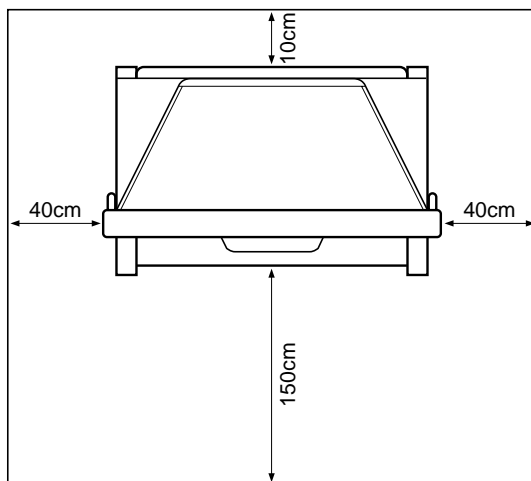
*この仕様表に掲載されている商品名、会社名は各社の商標及び登録商標です。

外形寸法図



設置スペース

本機の周囲には十分なスペースを設けてください。
操作時やカスタマーエンジニアの作業時に必要です。

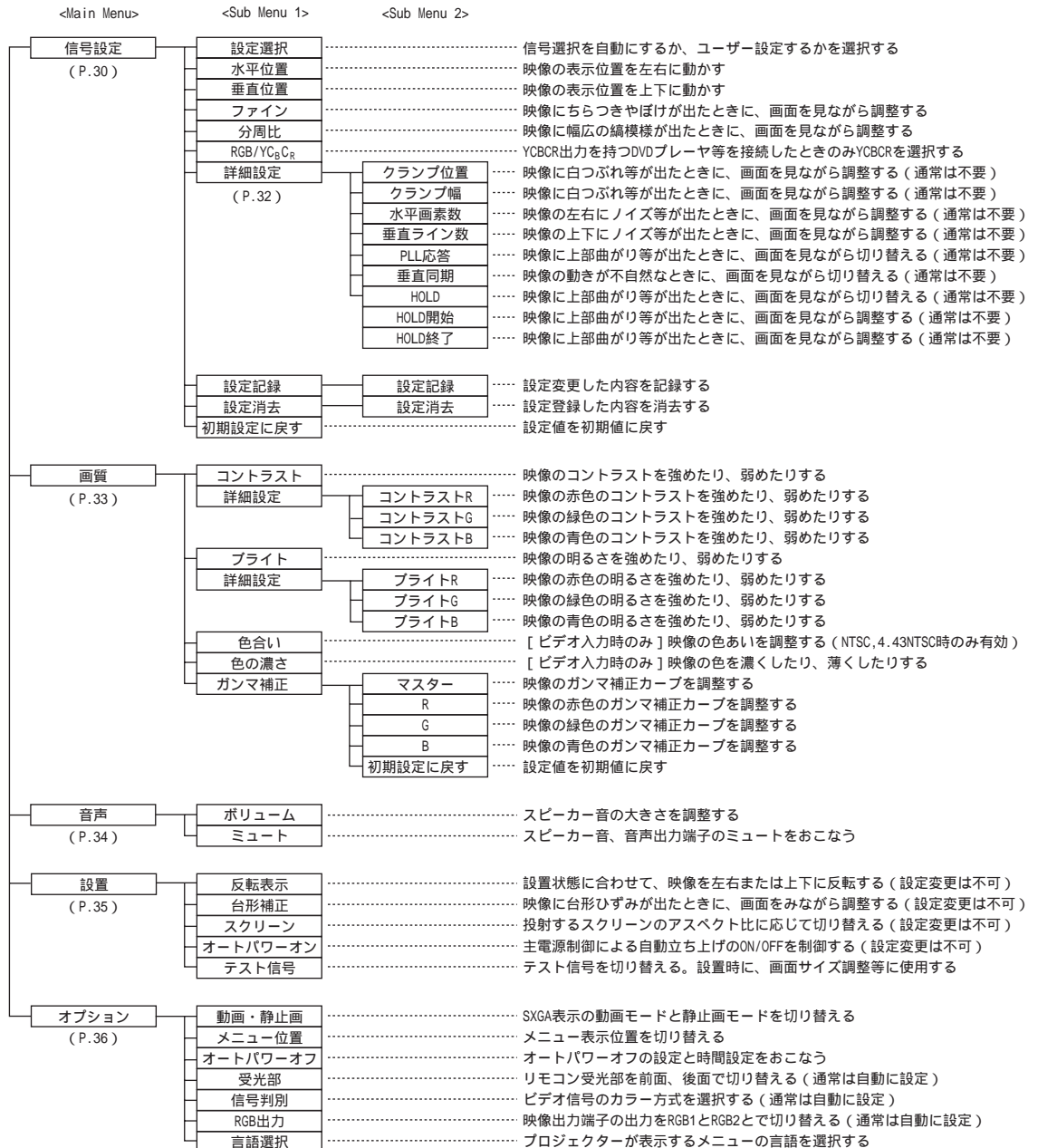


10 メニューの使い方

ここでは、画質やスピーカーの音量など本機を調整するためのメニューについて説明します。

メニュー階層図

メニューは、次の階層で構成されています。



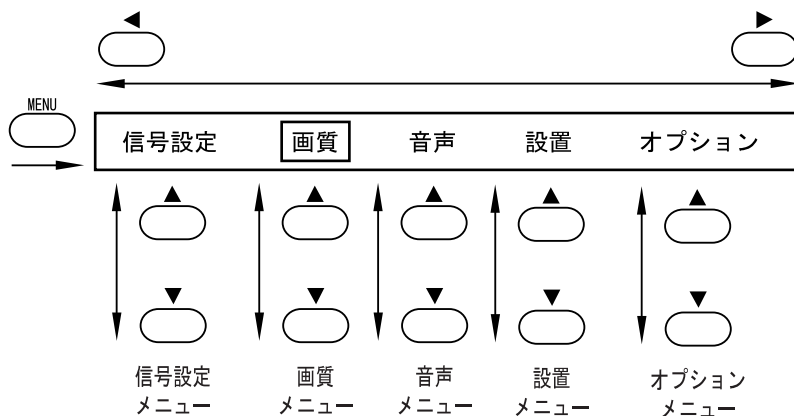
メニューの基本操作

メニューはワイヤレスリモコンで操作します。ワイヤレスリモコンのリモコン発光部をスクリーンに向けて操作してください。

MENUボタン	メニュー選択バーを表示させます。
、ボタン	メニュー選択バーから各メニューの選択、各メニュー内で設定する値の選択など、縦方向の操作をするときに使用します。
◀▶ボタン	メニュー選択バー内でメニュー名の選択、各メニュー内での設定項目の選択など、横方向の操作をするときに使用します。
ENTERボタン	メニュー上の「」マークのある項目を確定するときに使用します。また、メニュー選択バーから目的のメニューを表示させるときにも使用できます。

[メニュー選択バーの基本操作]

以下の図は、ワイヤレスリモコンのボタンによるメニューを選択する基本操作を示しています。



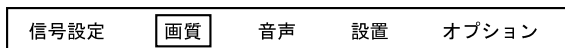
メニューの設定のしかた

以下の操作を例に、メニューの設定のしかたを説明します。

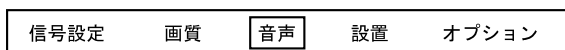
例) 音量を調整するとき

1. MENU ボタンを押します。

メニュー選択バーが表示されます。

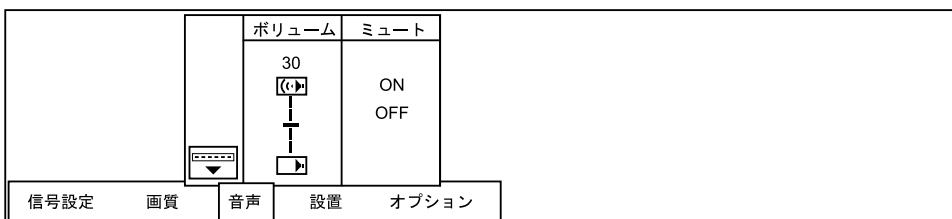


2. ワイヤレスリモコンの◀、▶ボタンを押して、「音声」を選びます。

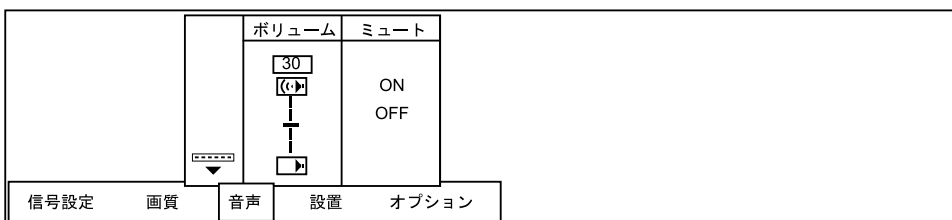


3. ワイヤレスリモコンの、ボタンを押します。

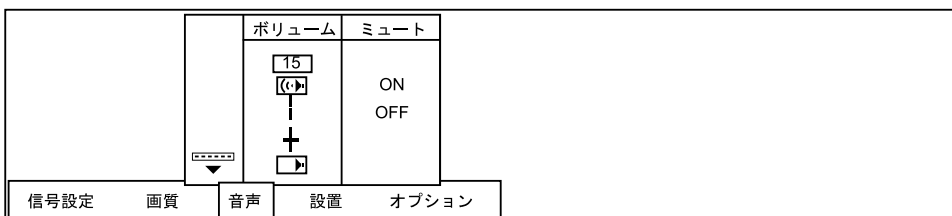
音声メニューが表示されます。ここで、ENTER ボタンを押しても表示されます。



4. ワイヤレスリモコンの◀、▶ボタンを押して、「ボリューム」を選びます。




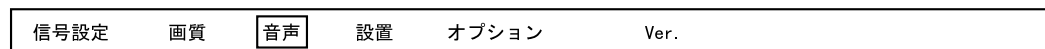
5. ワイヤレスリモコンの、ボタンを押して、音量を調整します。



6. MENU ボタンを押します。

音声メニューが消え、メニュー選択バーのみが表示されます。

ワイヤレスリモコンの◀、▶ボタンを押して「終了」を選んでから、 ボタンを押しても音声メニューが消えます。

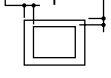


7. もう一度 MENU ボタンを押します。

メニュー選択バーが消えます。

信号設定メニュー

スクリーンの映像の位置を調整したり、ちらつきやぼけをなくしたりなどできます。

設定選択	水平位置	垂直位置	ファイン	分周比	RGB/Y,Cb,Cr	
AUTO	▲	▲	▲	▲	RGB	詳細設定▶
SXGA70a	0	0	0	0	Y,Cb,Cr	設定記録▶
USER1	▼	▼	▼	▼	Y,Pb,Pr	設定消去▶
USER2						初期設定に戻す▶

信号設定 画質 音声 設置 オプション



設定選択

パソコンから映像を表示させるとき、使用状況に応じて「AUTO」または「USER1」、「USER2」の設定を切り替えます。「AUTO」にしておくと、パソコンからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定され、正しく映像が表示されます。そのとき、AUTOの下に対象の信号形式が表示されます。



ただし、お使いのパソコンの種類によっては、信号形式が合わずに正しく映像が表示されないことがあります。その場合は、正しく映像が表示されるよう調整してください。調整した設定内容は、「USER1」または「USER2」に記録しておくことができます。

パソコンからの映像の調整方法、設定内容の記録方法、映像の信号形式などについては、「11 技術資料」の「パソコン映像の調整のしかた」(P.42)を参照してください。


水平位置

画面の水平位置を調整します。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押すと画面が右へ移動します。  ボタンを押すと画面が左へ移動します。


垂直位置

画面の垂直位置を調整します。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押すと画面が下へ移動します。  ボタンを押すと画面が上へ移動します。

ファイン

光源部のクロック信号を入力信号に同期させ、画面のちらつきやぼけなどをなくします。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押して、画面が最も鮮明に見えるようにしてください。入力信号のカラー方式がNTSC、PAL、4.43NTSCの場合、映像は変化しません。

分周比

光源部のクロック信号を入力信号に合わせます。映像に幅広のしま模様などが出たときに調整します。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押して、幅広のしま模様が消えるように調整してください。入力信号のカラー方式がNTSC、PAL、4.43NTSCの場合、映像の横幅が変わります。



RGB/YCbCr

コンポーネントビデオ出力 (Y Cb CrまたはY Pb Pr) 端子を持つDVDプレーヤやハイビジョン信号を出力する機器などを接続すると、DVDプレーヤの場合は [YCbCr] に、ハイビジョン信号の場合は [YPbCr] に自動的に切り替わります。R、G、B出力端子を持つハイビジョン信号を出力する機器などを接続するときは、 [RGB] を選択してください。

詳細設定

「信号設定メニューの詳細設定」を参照してください。この詳細設定は、通常操作する必要はありません。



設定記録

設定した内容を記録しておくときは、ワイヤレスリモコンの   ボタンを押して、「設定記録」を選んでから、ENTERボタンを押します。設定した内容が記録されます。

設定値は異なる2種類の信号形式に対して記録させることができます。すでに2種類の異なる信号形式で設定を記録させているときに、さらに異なる信号形式の設定を記録させた場合、最も古く記録させた信号形式の設定が消えます。

設定内容の記録方法、映像の信号形式については、「11 技術資料」の「パソコン映像の調整のしかた」(P.42)を参照してください。

設定消去

記録した内容を消去するときは、ワイヤレスリモコンの   ボタンを押して、「設定消去」を選んでから、ENTERボタンを押します。記録した内容が消去されます。

設定内容の消去方法については、「11 技術資料」の「パソコン映像の調整のしかた」(P.42)を参照してください。

初期設定に戻す

ワイヤレスリモコンの◀、▶ボタンを押して、「初期設定に戻す」を選んでからENTERボタンを押すと工場出荷時の設定に戻ります。

設定内容を初期設定に戻す方法については、「11 技術資料」の「パソコン映像の調整のしかた」（P.42）も参照してください。

信号設定メニューの詳細設定

この詳細設定は、通常操作する必要はありません。

信号設定-詳細設定							
クランプ位置	クランプ幅	水平画素数	垂直ライン数	PLL応答	垂直同期	HOLD	
▲ 33 ▼	▲ 33 ▼	▲ 3333 ▼	▲ 3333 ▼	AUTO FAST NORMAL SLOW	AUTO ON OFF	AUTO ON	開始 終了 ▲ ▲ ▼ ▼

クランプ位置

画面が白くつぶれたり黒くつぶれたりするときに調整します。ワイヤレスリモコンの、ボタンを押して、白つぶれや黒つぶれが消えるように調整します。

クランプ幅

画面が黒くつぶれるときに調整します。ワイヤレスリモコンの、ボタンを押して、黒つぶれが消えるように調整します。

水平画素数

画面の左右にノイズなどが出る場合に調整します。ワイヤレスリモコンのボタンを押すと表示幅が広がり、ワイヤレスリモコンのボタンを押すと表示幅が狭くなります（通常は入力信号の画素数に合わせます）。

垂直ライン数

画面の上下にノイズなどが出る場合に調整します。ワイヤレスリモコンのボタンを押すと表示高さが広がり、ワイヤレスリモコンのボタンを押すと表示高さが狭くなります（通常は入力信号のライン数に合わせます）。

PLL 応答

画面に上部曲がりが起こったときに調整します。通常はAUTOに設定してください。

垂直同期

画面の動きが不自然なときに調整します。通常はAUTOに設定してください。

HOLD

画面に上部曲がりが起こったときに調整します。通常はAUTOに設定してください。

画質メニュー

映像の調整を行います。映像の調整の詳しい操作方法は、「11 技術資料」の「映像の調整のしかた」(P.38)を参照してください。

	コントラスト	ブライト	色合い	色の濃さ	ガンマ補正
	0 ■ 詳細設定 ■	-30 ■ 詳細設定 ■	0 ■	0 ■	■ 詳細設定 ■
▼					
信号設定	画質	音声	設置	オプション	

コントラスト

映像のコントラストを調整します。ワイヤレスリモコンの **▶** ボタンを押すと明るくメリハリが出ます。ワイヤレスリモコンの **◀** ボタンを押すと映像がやわらかくなります。

[コントラストの詳細設定]

コントラストはR(レッド)/G(グリーン)/B(ブルー)の色ごとにも調整できます。ワイヤレスリモコンの **◀**、**▶** ボタンを押して「詳細設定」を選んでから、ENTERボタンを押すと詳細設定メニューが表示されます。調整したい色を選んで、調整してください。画質メニューに戻るには、MENUボタンを押します。

ブライト

映像の明るさを調整します。ワイヤレスリモコンの **▶** ボタンを押すと明るくなります。ワイヤレスリモコンの **◀** ボタンを押すと暗くなります。

[ブライトの詳細設定]

ブライトはR(レッド)/G(グリーン)/B(ブルー)の色ごとにも調整できます。ワイヤレスリモコンの **◀**、**▶** ボタンを押して「詳細設定」を選んでから、ENTERボタンを押すと詳細設定メニューが表示されます。調整したい色を選んで、調整してください。画質メニューに戻るには、MENUボタンを押します。

色あい

映像の色あいを調整します。ワイヤレスリモコンの ボタンを押すと肌色が緑がかります。ワイヤレスリモコンの ボタンを押すと肌色が紫がかります。入力信号がNTSCまたは4.43NTSCのときのみ動作します（パソコン入力信号のときは、動作しません）。

色の濃さ

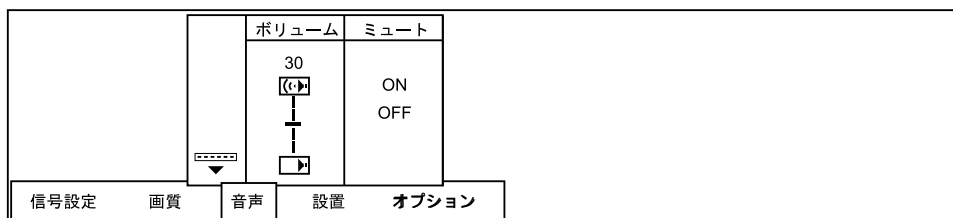
映像の色の濃さを調整します。ワイヤレスリモコンの ボタンを押すと色が濃くなります。ワイヤレスリモコンの ボタンを押すと色が淡くなります。入力信号がNTSC、PALまたは4.43NTSCのときのみ動作します（パソコン入力信号のときは、動作しません）。

ガンマ補正

入力信号の明暗と画面の対応を補正することができます。ガンマ補正の設定については、「11 技術資料」の「ガンマ補正のしかた」（P.40）を参照してください。

音声メニュー

本機のスピーカーから出力される音声（音量）を設定します。



ボリューム

スピーカーから出力される音量を調整します。ワイヤレスリモコンの ボタンを押すと音が大きくなります。ワイヤレスリモコンの ボタンを押すと小さくなります。

ミュート

スピーカーから音声を出力させるかどうかを設定します。「ON」を選ぶと音声は出力されません。「OFF」を選ぶと、ボリュームで設定した音量の音声が出力されます。

設置メニュー

スクリーンに表示される映像の表示方法を設定します。

反転表示		台形補正		スクリーン		オートパワーオン		テスト信号	
OFF	<input type="checkbox"/>	0°	<input type="checkbox"/>	4:3	<input type="checkbox"/>	ON		OFF	
左右	<input type="checkbox"/>	6°	<input type="checkbox"/>	16:9	<input checked="" type="checkbox"/>	OFF		1	
上下	<input type="checkbox"/>	9°	<input type="checkbox"/>					2	
上下 左右	<input type="checkbox"/>	12°	<input type="checkbox"/>					3	
	<input type="checkbox"/>	15°	<input type="checkbox"/>						

信号設定 画質 音声 設置 オプション

反転表示

映像を左右または上下に反転させて表示させます。

ただし、設定する必要はありません。初期設定のままお使いください。

設定値を変えてしまった場合は、信号設定メニューで「初期設定に戻す」を選びENTERボタンを押して、工場出荷時の設定に戻してください。

台形補正

台形ひずみを調整します。「0°」でお使いください。表示の設定が「上下」または「上下左右」に設定されているときは、動作しません。

スクリーン

設定する必要はありません。「4:3」でお使いください。

設定値を変えてしまった場合は、信号設定メニューで「初期設定に戻す」を選びENTERボタンを押して、工場出荷時の設定に戻してください。

オートパワーオン

設定する必要はありません。「ON」でお使いください。本機の主電源スイッチで点灯/消灯ができます。







テスト信号

映像サイズ調整などを行うためのテスト信号を表示させるときに選択します。

通常は、OFFでご使用ください。

オプションメニュー

画質、表示、音声以外にも本機を使用する上でより詳細な設定をすることができます。

	動画・静止画	メニュー位置	オートパワーオフ	受光部	信号判別	RGB出力	言語選択
	動画 静止画	1  2 	ON — 5.0 分 OFF	AUTO   	AUTO NTSC PAL SECAM 4.43NTSC PAL-M PAL-N	AUTO RGB1 RGB2	日本語 English Español Deutsch Franais Italiano 中文
	信号設定	画質	音声	設置	オプション		

動画・静止画

主に動画を表示させるときは「動画」、静止画を表示させるときは「静止画」を選びます。パソコンからSXGA信号の入力されている場合のみ動作します。

メニュー位置

メニューを表示させる位置（上または下）を選びます。


オートパワーオフ

「オフ」のままお使いください。

受光部

「AUTO」の設定のままお使いください。


信号判別

VIDEO1またはVIDEO2端子から入力された信号のカラー方式を自動判別するための設定をします。通常は「AUTO」の設定のまま使用します。「AUTO」に設定していても正しく再生されない（色がつかないなど）場合は、ワイヤレスリモコンの  ボタンを押して、入力している信号に合わせた適切なカラー方式を選んでください。

RGB 出力

RGB出力（RGB OUT）端子から出力される映像を選びます。「AUTO」にしておくと、RGB1、RGB2のうち、表示されている端子の映像が出力されます。ビデオ信号が表示されているときは、最後に表示したパソコン入力端子からの映像が出力されます。

言語選択

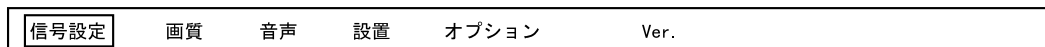
表示するメニューの言語を変更できます。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押して、希望の言語表示を選んでください。

映像の調整のしかた

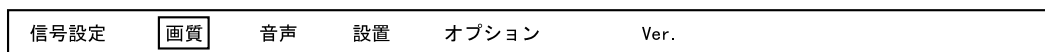
例) 映像の明るさ (ブライト) を調整するとき

1. MENU ボタンを押します。

メニュー選択バーが表示されます。

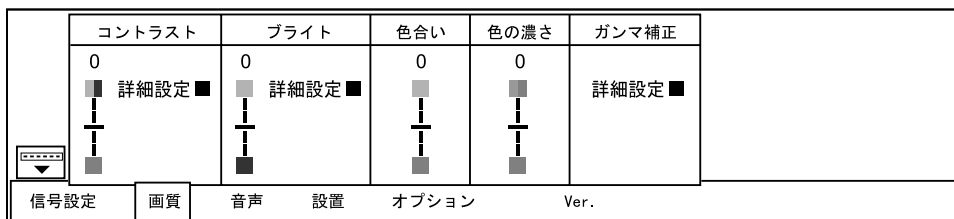


2. ワイヤレスリモコンの◀、▶ボタンを押して、「画質」を選びます。

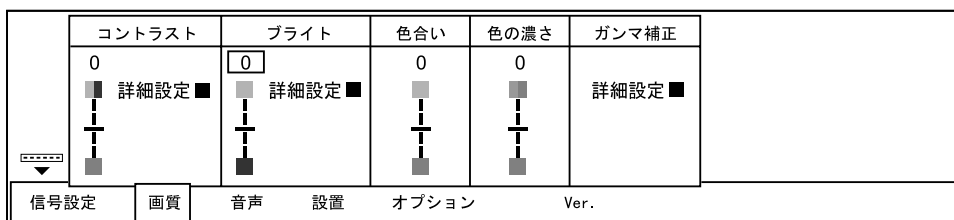


3. ワイヤレスリモコンの、ボタンを押します。

画質メニューが表示されます。ここで、ENTER ボタンを押しても表示されます。

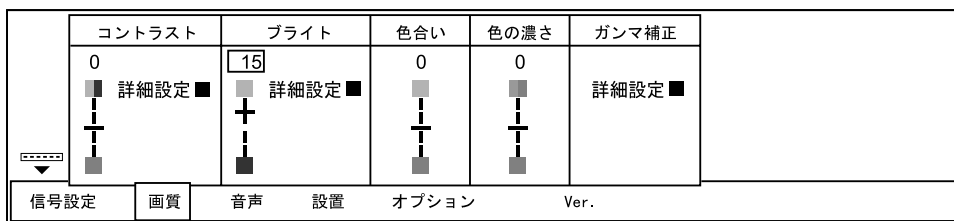



4. ワイヤレスリモコンの◀、▶ボタンを押して、「ブライト」を選びます。

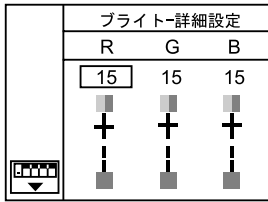




5. ワイヤレスリモコンの、ボタンを押して、映像の明るさを調整します。

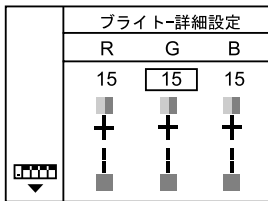
ボタンを押すたびに映像が明るくなり、ボタンを押すたびに映像が暗くなります。





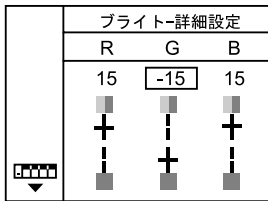
6. 続けて、R(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー)の色ごとに映像の明るさを調整します。
ワイヤレスリモコンの  ボタンを押して、「詳細設定」を選び、ENTER ボタンを押します。



7. ワイヤレスリモコンの   ボタンを押して、調整したい色を選びます。



8. ワイヤレスリモコンの   ボタンを押して、選んだ色の明るさを調整します。



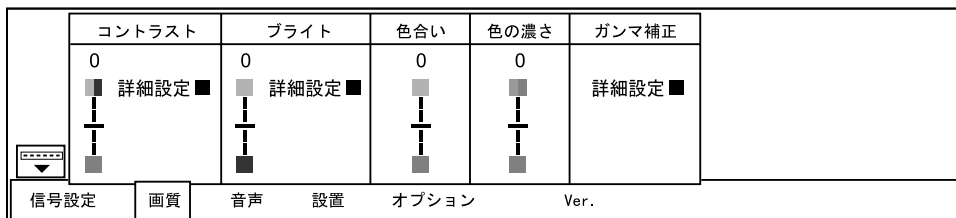
9. MENU ボタンを2回押します。
メニューが消えます。

補 足

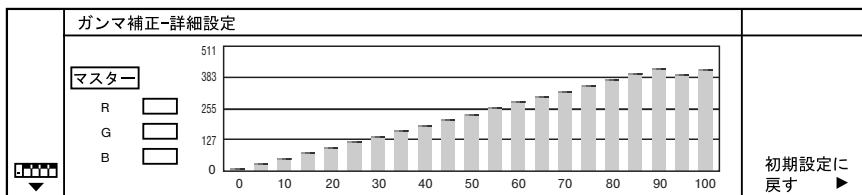
- ・必要に応じて、コントラスト、色合い、色の濃さも同様の操作方法で映像を調整します。

ガンマ補正のしかた

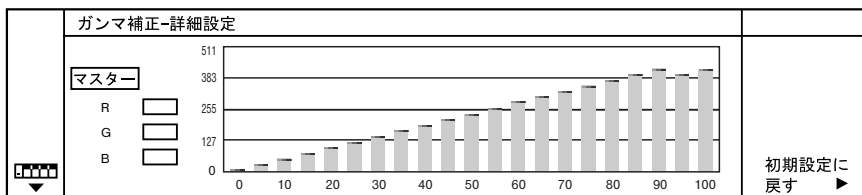
1. 画質メニューを表示させます。
前ページの操作1～3を行います。



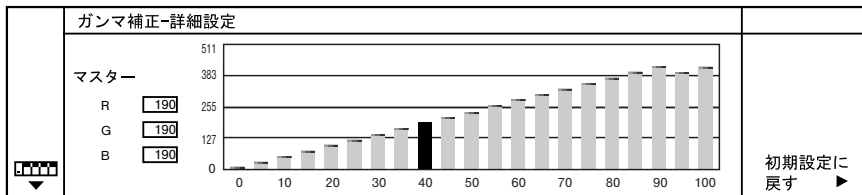
2. ワイヤレスリモコンの◀、▶ボタンを押して、ガンマ補正の詳細設定を選び、ENTERボタンを押します。
ガンマ補正調整画面が表示されます。





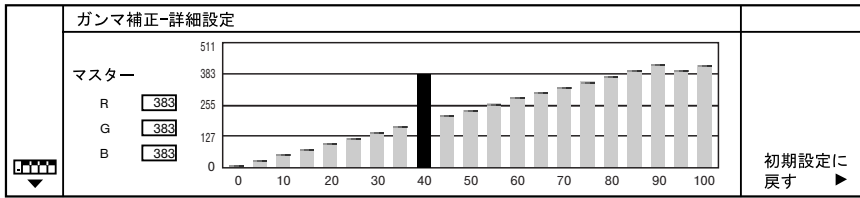
3. ワイヤレスリモコンの◀、▶ボタンを押して、「マスター」を選びます。




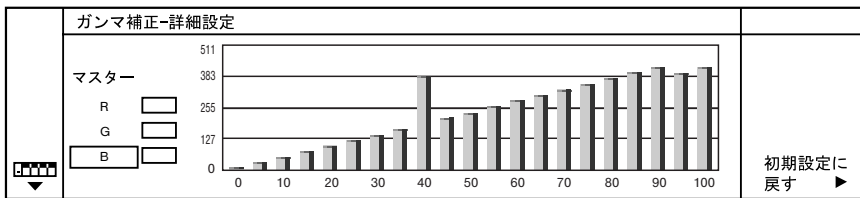
4. ワイヤレスリモコンの◀、▶ボタンを押して、変更する入力信号の明るさの位置にあるバーを選びます。





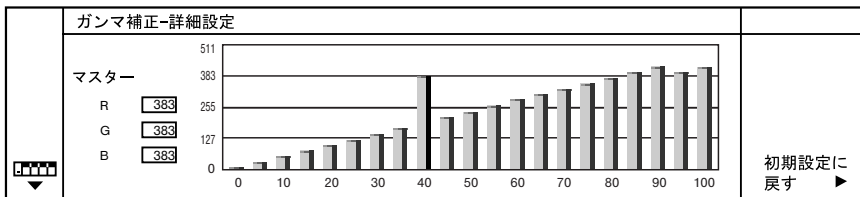
5. ワイヤレスリモコンの  ボタンを押して、出力信号の明るさを調整します。
 ボタンを押すたびに映像が明るくなり、  ボタンを押すたびに映像が暗くなります。
 操作4、5を繰り返して、他のバーの高さを調整します。




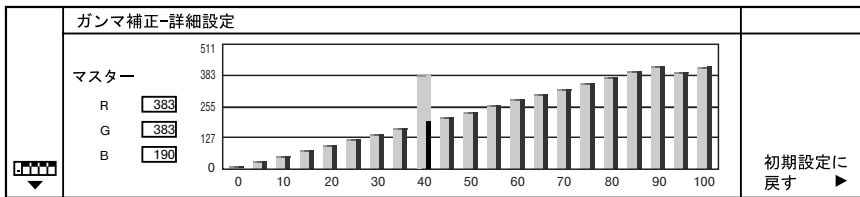
6. 続けて、R(レッド) G(グリーン) B(ブルー)の色ごとに映像の明るさを調整します。
 ワイヤレスリモコンの  ボタンを押して、「R」、「G」または「B」を選びます。



7. ワイヤレスリモコンの   ボタンを押して、変更する入力信号の明るさの位置にあるバーを選びます。



8. ワイヤレスリモコンの  ボタンを押して、出力信号の明るさを調整します。
 操作6、7を繰り返して、他のバーの高さを調整します。



9. MENU ボタンを3回押します。
 メニュー画面が消えます。

パソコン映像の調整のしかた

本機では、接続されたパソコンから映像を表示させるとき、その映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定され、映像が正しく表示するよう調整されます。

しかし、お使いのパソコンの種類によっては、正しく表示されないことがあります。その場合は、信号設定メニューを使用して表示される映像を調整することができます。

ここでは、映像が正しく表示されないときの調整方法と、調整時に設定した内容の記録方法などを説明します。



信号設定メニューを使用した映像の調整のしかた

以下に、正しく表示されない症状に応じた映像の調整方法を紹介します。



補 足

- ・症状によっては信号設定メニューの詳細設定メニューの項目で調整しますが、調整が必要ない場合は、詳細設定メニューの各項目の設定は変更しないでください。


症状 画面が左右にずれる

調整 信号設定メニューで「水平位置」を選択し、画面の水平位置を調整します。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押すと画面が右へ、  ボタンを押すと画面が左へ移動します。


症状 画面が上下にずれる

調整 信号設定メニューで「垂直位置」を選択し、画面の垂直位置を調整します。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押すと画面が上へ、  ボタンを押すと画面が下へ移動します。


症状 画面がちらつく、またはぼける

調整 信号設定メニューで「ファイン」を選択し、画面のちらつきやぼけを調整します。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押して、画面が最も鮮明に見えるようにします。



症状 幅広のしま模様が出る

調整 信号設定メニューで「分周比」を選択し、調整します。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押して、幅広のしま模様が消えるようにします。



症状 画面が白く（または黒く）つぶれる

調整 信号設定メニューの詳細設定メニューで「クランプ位置」または「クランプ幅」を選択し、調整します。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押して、白つぶれまたは黒つぶれが消えるようにします。

症状 画面の左右にノイズなどが出る

調整 信号設定メニューの詳細設定メニューで「水平画素数」を選択し、調整します。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押すと表示幅が広がり、ワイヤレスリモコンの  ボタンを押すと表示幅が狭くなります。

症状 画面の上下にノイズなどが出る

調整 信号設定メニューの詳細設定メニューで「垂直ライン数」を選択し、調整します。ワイヤレスリモコンの  ボタンを押すと表示高さが広がり、ワイヤレスリモコンの  ボタンを押すと表示高さが狭くなります。

症状 画面に上部曲がりが起こる

調整 信号設定メニューの詳細設定メニューで「PLL応答」または「HOLD」を選択し、調整します。

PLL応答を選択した場合は、FAST、NORMAL、SLOWの中から最も上部曲がり少なくなる項目を選択します。通常は「AUTO」に設定しておいてください。





HOLDを選択した場合は、設定を「ON」にしてから、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がり少なくなるようにします。通常は「AUTO」に設定しておいてください。

症状 映像の動きが不自然

調整 信号設定メニューの詳細設定メニューで「垂直同期」を選択し、調整します。通常は「AUTO」に設定しておいてください。

変更した設定を記録するには


信号設定メニューで変更した設定内容を、以下の手順で記録します。

1. 信号設定メニューで [設定記録] の項目を選び、ENTER ボタンを押します。
2. ワイヤレスリモコンの 、 ボタンを押して、[USER 1] を選びます。
3. ワイヤレスリモコンの 、 ボタンを押して、記録したいメモリー (USER 1 または USER 2) を選びます。
4. ENTER ボタンを押します。

変更した設定を初期設定に戻すには





信号設定メニューで [初期設定に戻す] の項目を選び、ENTER ボタンを押します。

記録した設定で映像を見るには

信号設定メニューで [設定選択] の項目を選び、ワイヤレスリモコンの  ボタンを押して、記録したメモリー (USER 1 または USER 2) を選びます。

記録した設定を消すには

記録した設定内容を、以下の手順で消去します。

1. 信号設定メニューで [設定消去] の項目を選び、ENTER ボタンを押します。
2. ワイヤレスリモコンの 、 ボタンを押して、[USER 1] を選びます。
3. ワイヤレスリモコンの 、 ボタンを押して、消去したいメモリー (USER 1 または USER 2) を選びます。
4. ENTER ボタンを押します。
記録していた設定は消去されます。

簡単な画面位置調整のしかた

水平位置の調整：

1. 水平位置を調整して映像の左端を合わせ、分周比を調整して右端を合わせます。
2. 1 の操作を繰り返し、水平位置を調整します。

垂直位置の調整：

3. 垂直位置を調整して映像の上端 j を合わせます。

登録されている信号形式

信号表示	解像度 (H×V)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	通常表示 (H×V)	リアル画面表示 (水平×垂直)
PC98	640×400	24.82	56.42	1024×640	640×400
CGA70	640×400	31.47	70.09	1024×640	640×400
CGA84	640×400	37.86	84.14	1024×640	640×400
CGA85	640×400	37.86	85.08	1024×640	640×400
VGA60	640×480	31.47	59.94	1024×768	640×480
VGA72	640×480	37.86	72.81	1024×768	640×480
VGA75	640×480	37.50	75.00	1024×768	640×480
VGA85	640×480	43.27	85.01	1024×768	640×480
SVGA56	800×600	35.16	56.25	1024×768	800×600
SVGA60	800×600	37.88	60.32	1024×768	800×600
SVGA72	800×600	48.08	72.19	1024×768	800×600
SVGA75	800×600	46.88	75.00	1024×768	800×600
SVGA85	800×600	53.67	85.06	1024×768	800×600
XGA43i	1024×768	35.52	86.96	1024×768	1024×768
XGA60	1024×768	48.36	60.00	1024×768	1024×768
XGA70	1024×768	56.48	70.07	1024×768	1024×768
XGA75	1024×768	60.02	75.03	1024×768	1024×768
XGA85	1024×768	68.68	85.00	1024×768	1024×768
SXGA70a	1152×864	63.85	70.01	1024×768	1024×768
SXGA75a	1152×864	67.50	75.00	1024×768	1024×768
SXGA85a	1152×864	77.49	85.06	1024×768	1024×768
SXGA60a	1280×960	60.00	60.00	1024×768	1024×768
SXGA75a	1280×960	75.00	75.00	1024×768	1024×768
SXGA43i	1280×1024	46.43	86.87	960×768	1024×768
SXGA60	1280×1024	63.98	60.02	960×768	1024×768
SXGA75	1280×1024	79.98	75.03	960×768	1024×768
SXGA85	1280×1024	91.15	85.02	960×768	-
UXGA48i	1600×1200	62.50	96.08	1024×768	-
UXGA60	1600×1200	75.00	60.00	1024×768	-
UXGA65	1600×1200	81.25	65.00	1024×768	-
UXGA70	1600×1200	87.50	70.00	1024×768	-
UXGA75	1600×1200	93.75	75.00	1024×768	-
UXGA80	1600×1200	100.00	80.00	1024×768	-
UXGA85	1600×1200	106.25	85.00	1024×768	-
MAC13	640×480	35.00	66.67	1024×768	640×480
MAC16	832×624	49.72	74.55	1024×768	832×624
MAC19	1024×768	60.24	75.02	1024×768	1024×768
MAC21	1152×870	68.59	74.96	1024×768	1024×768
HP75	1024×768	62.94	74.92	1024×768	1024×768
HP72	1280×1024	78.13	72.00	960×768	1024×768
SUN66a	1152×900	61.85	66.00	984×768	1024×768
SUN76a	1152×900	71.81	76.63	984×768	1024×768
SUN66	1280×1024	71.68	66.68	960×768	1024×768
SUN76	1280×1024	81.13	76.11	960×768	1024×768
SG172	1280×1024	76.92	72.30	960×768	1024×768
SG176	1280×1024	82.00	76.00	960×768	1024×768
IBM60	1280×1024	63.42	60.00	960×768	1024×768

- ・「信号表示」は信号設定メニューの設定選択欄中表示されます。
- ・*1：これらの信号形式の信号形式の映像を表示させるときは、映像を間引いて映すため、線や文字が欠けることがあります。
- ・お使いのパソコンの機種によっては、表示できないことがあります。
- ・本機の最大解像度は1,024×768ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度が得られません。
- ・SYNC ON G対応の信号は、映像が緑がかったり、画面が少し揺れることがあります。
- ・表に載っていない解像度と周波数の表示形式を持つコンピュータでも、表に載っている解像度と周波数に変更できる場合もあります。
- ・ハイビジョン信号などをRGB信号で入力するときは、信号設定メニューでRGB/Y、Cb、Crの設定をRGBに変更します。

パソコンから本機の表示機能を制御する

パソコンから本機の表示機能を制御する場合は、本機のリア端子部のRS-232C端子とパソコンのRS-232C端子を、RS-232Cケーブルで接続します。

パソコンで制御できる機能

- ・本機光源ランプの点灯（入）/消灯（切）
- ・入力信号の切り替え
- ・ワイヤレスリモコン上のボタン入力
- ・ワーニングデータの読み出し

インターフェース

プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600 [bps]
データ長	8 [bits]
パリティ	無し
ストップビット	1 [bits]
フロー制御	無し

- ・リア端子部のRS-232C端子のピン配列は、DTE仕様です。
- ・RS-232Cによる制御は、RXD、TXD、GNDの3つの信号を使用しています。他のピンはNC（未接続）です。

RXD信号：2ピン入力、TXD信号：3ピン出力、GND信号：5ピン

- ・パソコンとの接続は、「クロスケーブル」をご使用ください。

制御コマンド構成

コマンドはアドレスコード、ファンクションコード、データコード、エンドコードの4コードで構成されており、コマンドの信号長はファンクションごとに異なります。

	アドレスコード	ファンクションコード	データコード	エンドコード
HEX	30h 30h	ファンクション	データ	0Dh
ASCII	'0' '0'	ファンクション	データ	

アドレスコード	30h 30h（アスキーコードの場合、'0' '0'）固定
ファンクションコード	各制御動作固有のコード
データコード	各制御動作固有のコード（数値など）で、指定しない場合もあります。
エンドコード	0Dh（アスキーコードの場合、' '）固定

リモコンコマンド

リモコンコマンドではパソコンでワイヤレスリモコンと同様に操作できます。ワイヤレスリモコンの操作方法は、「ワイヤレスリモコン」(P.8)、「メニューの基本操作」(P.28)を参照してください。リモコンコマンドにはデータコードはありません。

リモコンのボタン名	ASCII	HEX	備考
電源	r3c	72h 33h 63h	光源ランプの点灯/消灯
+	r06	72h 30h 36h	
-	r07	72h 30h 37h	
	r53	72h 35h 33h	
	r2b	72h 32h 62h	
	r4f	72h 34h 66h	
	r59	72h 35h 39h	
MENU	r54	72h 35h 34h	
ENTER/STILL	r10	72h 31h 30h	
FOCUS/ZOOM	r0f	72h 30h 66h	機能しません
PC CARD RELEASE	r22	72h 32h 32h	機能しません

[例] メニューを表示する(' ' はアスキーコードの場合)。

パソコンから送信するコマンド	プロジェクトからパソコンへ返すステータス	意味
30 30 72 35 34 OD '0' '0' 'r' '5' '4' ' ' ' '		リモコンのメニューボタンに相当するコマンドを送出
	30 30 72 35 34 OD '0' '0' 'r' '5' '4' ' ' ' '	プロジェクトがコマンドを受け取った(コマンドエコーバック)

ワーニングコマンド

ワーニングデータの現状のデータと過去の履歴データとを読み出します。パソコンからは、データコードを付加せずに送信します。一方、コマンドを受け取った本機は、ワーニングデータをデータコードとして付加し、送信します。

	ASCII	HEX
現状データ	En	45h 6Eh
履歴データ	Ep	45h 70h
履歴データのクリア	Ec	45h 63h

本機からの返事を以下に示します。異常が発生したところを1とします。それ以外は0にします。

現状のワーニングデータ

En* (*は2桁の16進数)

*=(MSB)b1・b2・b3・b4・b5・b6・b7・0(LSB)

b1 = 表示部の故障

b2 = ランプ不点灯

b3 = ランプカバーが閉じていない

b4 = フィルターカバーが閉じていない

b5 = 温度異常 (吸気)

b6 = 温度異常 (ランプ)

b7 = 温度異常 (基板)

履歴データ

Ep* (*は6桁の16進数)

*=(MSB)b1・b2・b3・b4・b5・b6・b7・b8・b9・b10・b11・b12・b13・b14・b15・b16・b17・b18・b19・b20・b21・000(LSB)

b1 = 発生時間 (自己診断中'0'/光源ランプの電源が「入」のとき'1')

b2 = スタンバイ電源ショート

b3 = スイッチ電源ショート

b4 = 光学ユニットファン (ランプ下) の停止

b5 = 光源部排気ファンの停止

b6 = 光学ユニットファン (液晶下) の停止

b7 = 光源部電源BOXファンの停止

b8 = ランプカバーが閉じていない

b9 = フィルターカバーが閉じていない

b10 = 温度センサーの抜け (吸気)

b11 = 温度センサーの抜け (ランプ)

b12 = マイコン間の通信不良

b13 = 常に0

b14 = 温度異常 (ランプ)

b15 = 温度異常 (吸気)

b16 = 温度異常 (基板)

b17 = ランプ不点灯

b18 = 常に0

b19 = 常に0

b20 = 常に0

b21 = ランプ寿命

[例1] ワーニング状態を確認すると、表示部が故障していた場合

パソコンから送信する コマンド	プロジェクタからパソコンへ返す ステータス	意味
30 30 45 6E OD '0' '0' 'E' 'n' ' ' ' '		現状のワーニング状態の確認
	30 30 45 6E 38 30 OD '0' '0' 'E' 'n' '8' '0' ' '	プロジェクタが本体故障のエラー コードを返した

[例2] ワーニングの履歴を確認すると、電源が「入」のときに光源部排気ファンが異常を起
こしていた場合。

パソコンから送信する コマンド	プロジェクタからパソコンへ返す ステータス	意味
30 30 45 70 OD '0' '0' 'E' 'p' ' ' ' '		ワーニング履歴の確認
	30 30 45 70 38 38 30 30 30 '0' '0' 'E' 'p' '8' '8' '0' ' ' '	電源が「入」のときに排気ファン 異常のエラーコードを返した

読み出しコマンド構成

本機表示部の動作状態をモニターします。モニターできる内容は、光源ランプ電源の「入」「切」および入力端子の設定です。

	ASCII		HEX	
	ファンクション	データ(受信)	ファンクション	データ(受信)
POWER ON	vP	1	76h 50h	31h
POWER OFF	vP	0	76h 50h	30h
INPUT RGB1	vI	r1	76h 49h	72h 31h
INPUT RGB2	vI	r2	76h 49h	72h 32h
INPUT VIDEO1	vI	v1	76h 49h	76h 31h
INPUT VIDEO2	vI	v2	76h 49h	76h 32h
INPUT CARD1	vI	c1	76h 49h	63h 31h
INPUT CARD2	vI	c2	76h 49h	63h 32h

パソコンからはデータコードを付加せずに送信します。一方、コマンドを受け取った本機は現在の動作状態をデータコードとして付加し、送信します。

[例] 入力端子の動作状態を確認すると、入力がVIDEO 1になっていた場合。

パソコンから送信する コマンド	プロジェクタからパソコンへ返す ステータス	意味
30 30 76 49 OD '0' '0' 'V' 'I' ' ' ' '		入力端子の確認
	30 30 76 49 76 31 OD '0' '0' 'v' 'I' 'v' '1' ' ' ' '	入力端子の動作確認がVIDEO1にな っているデータコードを返した

画質調整コマンド構成

画質調整コマンドは本機の画質の設定を行います。パソコンから設定値データを付加せずに送信すると、コマンドを受け取った本機は、現状の設定値データをデータコードとして付加し、送信します。

	ASCII	HEX
コントラスト	P	50h
ブライト	Q	51h
色合い	S	53h
色の濃さ	T	54h

数値の設定方法

コントラストおよびブライトの数値データは、Rの設定値データ+Gの設定値データ+Bの設定値データで構成されます。

設定値はASCII文字列を用いて設定します（-30～+30）。ASCIIコードとHEXコードの対応表を以下に示します。

ASCII	'4'	'-'	'0'	'1'	'2'	'3'	'4'	'5'	'6'	'7'	'8'	'9'
HEX	2Bh	2Dh	30h	31h	32h	33h	34h	35h	36h	37h	38h	39h

[例1] コントラストのRの設定値を+10、Gの設定値を0、Bの設定値を-5にする（' 'はアスキーコードの場合）。

パソコンから送信するコマンド	プロジェクトからパソコンへ返すステータス	意味
30 30 50 2B 31 30 2B 30 30 2D '0' '0' 'P' '+' '1' '0' '+' '0' '0' '-' '0' '5' ' ' ' '	30 35 0D '0' '0' '-' '0' '5' ' ' ' '	コントラストの設定値を設定するコマンドを送出
	30 30 50 2B 31 30 2B 30 30 2D '0' '0' 'P' '+' '1' '0' '+' '0' '0' '-' '0' '5' ' ' ' '	プロジェクトがコマンドを受け取った（コマンドエコーバック）

[例2] 色合いの設定値を確認すると設定値が+30になっていた場合（' 'はアスキーコードの場合）。

パソコンから送信するコマンド	プロジェクトからパソコンへ返すステータス	意味
30 30 53 0D '0' '0' 'S' ' ' ' '		現状の色合いの設定値の確認
	30 30 53 2B 33 30 0D '0' '0' 'S' '+' '3' '0' ' ' ' '	プロジェクトが色合いの設定値（+30）のデータコードを返した

索引

記号

- + 音量ボタン 9, 10
- 音量ボタン 9, 10

E

- ENTER ボタン 9, 10, 29

M

- MENU ボタン 9, 10, 29

W

- Windows の終了 18

イ

- 移動用取っ手 7
- インジケータ部 6

ウ

- 運搬 11

オ

- オプションメニュー
 - RGB 出力 37
 - オートパワーオフ 37
 - 言語選択 38
 - 受光部 37
 - 信号判別 37
 - 動画・静止画 37
 - メニュー位置 37
- 音声メニュー
 - ボリューム 35
 - ミュート 35
- 温度インジケータ 8, 22

カ

- 開梱 11
- 画質メニュー
 - 色あい 35
 - 色の濃さ 35
 - ガンマレベル 35
 - コントラスト 34
 - ブライト 34

キ

- 吸気口 7

ク

- 組立て 11

コ

- 光源ランプ 24

シ

- 主電源スイッチ 6
- 主電源スイッチの入/切について 17
- 信号設定メニュー
 - RGB/YCbCr 32
 - 詳細設定 32
 - 初期設定に戻す 33
 - 設定記録 32
 - 設定消去 32
 - 設定選択 31
 - ファイン 32
 - 分周比 32
- 信号設定メニューの詳細設定
 - HOLD 34
 - PLL 応答 33
 - クランプ位置 33
 - クランプ幅 33
 - 垂直同期 34
 - 垂直ライン数 33
 - 水平画素数 33

ス

- 据付場所 11
- スキャナ等収納部 6
- スクリーン 6
- スピーカー 6

セ

- 設置 11
- 設置メニュー
 - オートパワーオン 36
 - スクリーン 36
 - 反転表示 36

ソ

操作インジケータ 9, 10

タ

タッチパネル 23
タッチパネルコントローラ 7
タッチパネルのガラス 18

テ

電源インジケータ 8, 22
電源コネクタ 7
電源タップ 7
電源タップの電源容量 18
電池の入れ方 12

ト

取っ手 7

ニ

入力選択ボタン 9, 10

ハ

排気ファン 7
パソコン映像の調整のしかた
簡単な画面位置調整のしかた 45
記録した設定で映像を見るには 45
記録した設定を消すには 45
登録されている信号形式 46
変更した設定を記録するには 44
変更した設定を初期設定に戻すには 44
パソコンから本機の表示機能を制御する
インターフェース 47
画質調整コマンド構成 52
数値の設定方法 52
制御コマンド構成 47
制御シーケンス 48
操作コマンド 48
読み出しコマンド構成 51
リモコンコマンド 49
ワーニングコマンド 49
パソコン収納部 6
パソコンの接続方法 14

パソコンの電源 18

バックカバー 7

ヒ

ビデオや DVD 等機器の接続 15
ビデオ・DVD 等収納部 6
表示メニュー
台形補正 36
テスト信号 36

フ

プリンタ収納部 6
フロント端子 7
フロント端子部 6

ホ

本機主電源の接続方法 14
本機の接続方法 14

メ

メニュー選択ボタン 9, 10

ラ

ランプインジケータ 8, 22

リ

リア端子 7
リア端子部 7
リモコン 9
リモコン 2 10
リモコン発光部 9, 10

ロ

ロック付きキャスター 6

ワ

ワイヤレスリモコン 9, 12